

小学校第6学年 学級活動（１）



話し合うこと① ○自分の考え 私は誰でしょうゲームに賛成 ○理由 友達の特徴を映せば、友達のことをもっと知ることができるから。 話し合うこと② ○自分の考え 飾りをつくる ○理由 教室が明るくなって、みんなの気持ちが楽しくなるから。 1	話し合うこと① ○自分の考え 私は誰でしょうゲームに賛成 ○理由 友達の一部を見て誰かを当てることで、どれだけ絆が芽生えているかわかるから。 話し合うこと② ○自分の考え 思い出の絵をはる ○理由 2学期にあったことをふり返ることができるし、楽しい思い出が増えるから。 2
話し合うこと① ○自分の考え 思い出バスケットに賛成 ○理由 2学期関連のお題にすることで、ふり返ることができるし、楽しいから。 話し合うこと② ○自分の考え 思い出の絵を教室にかざる ○理由 一人一人が2学期の思い出の絵を描けば、どんなことが心に残っているかわかるから。 3	話し合うこと① ○自分の考え 私は誰でしょうゲームに反対 ○理由 自分の顔の一部とかを画面に映されて、みんなに見られるのは心配です。 話し合うこと② ○自分の考え みんなへのメッセージカードを書いて、教室にはる ○理由 教室も賑やかになって、しかも2学期を思い出せるから。 4

よりよい学級や学校生活をつくるための意見をクラウドで共有し、少数意見等も大切にしながら、自分の考えを深める。

小学校第6学年 学級活動（1）「2学期がんばったね会をしよう」

■本活動のねらい

互いのがんばりを認め合う「2学期がんばったね集会」をするために、学級会を通して集会活動の内容等を考えたり、協力して実践したりすることができるようにする。

■本活動の概要

2学期は、学級会での取組や学校行事などが充実し、それぞれの活動に一生懸命取り組んできた。頑張ってきたことを認め合うための集会活動を行うためにどんな活動ができるかを学級会で話し合うとともに、決まったことをもとに自分の係にしたがって準備をし、学級全体で集会活動を行う。

■本活動の指導計画（朝の会+2時間）

事前の活動（朝の会）

- ・計画委員会が議題を選定する
- ・学級全員で議題を決定する
- ・計画委員会が活動計画等を作成する
- ・クラウド上に自分の考えを書き込み、学級全員が提出する
- ・提出された意見を学級全員が事前に確認する

本時の活動

「2学期がんばったね会をしよう」

- ・学級会で内容を決める
 - ①何をするか
 - ②がんばりを認め合う工夫をどうするか
 - ③どんな係が必要か

事後の活動

- ・係ごとに協力して準備をする
- ・「2学期がんばったね集会」を行う
- ・振り返りを行う

■指導計画の概要

教師の適切な指導の下に、計画委員会が集まった議題案の中から議題を選び、学級全員で決定する。さらに、計画委員会は、どんなことを話し合うかなど計画を立て、学級全員へ話し合うことについて自分の考えをクラウド上へ書き込んで提出するように伝える。

事前に入力し、出し合った意見をもとに話し合いを行う。互いのがんばりを認め合うことができるような活動について考え、少数の意見も生かしながら話し合って、よりよい合意形成を図る。

話し合って決まった係の仕事を協力して準備する。集会の当日は、学級全員で協力して実践する。その後は、ねらいに基づいた振り返りや、互いのよさを認め合う活動を行う。

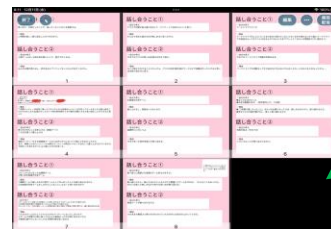
■資質・能力が育成され「深い学び」が実現している子供の姿（本時の活動）

【学習活動の場面】

子供たちは「2学期がんばったね集会」で何をするかについて事前に考えて、それをクラウド上のシートに書き込んだ。学級会前日の朝の会に教師が「**明日は学級会があるので、友達の考えを見て、自分の考えを整理してください。特に、友達の考えのよいところや心配そうな意見があったら解決策を考えてください。**」と伝えた。

【子供の「深い学び」の姿】

友達の写真の一部からその人が誰かを当てるゲームを行いたいという意見があり、それに賛成する意見が続いた。しかし、Aは**事前にクラウド上で友達の考えを見ている**中で、そのゲームに心配な考えをもつ友達がいることを思い出した。



そこで、**クラウド上に書かれた友達の考えを端末で確認したり、提案理由を踏まえて改善策を考えて発言した。**

A「提案されたゲームは楽しそうだけれど、自分の画像を使われることに不安を感じている子もいるので、工夫した方がいいと思います。例えば、2学期に頑張ったことを思い出せるようにその時の様子がわかる画像の一部を見せて、何をしている場面かを当てるゲームにしたらいいと思います。」

B「私もAの意見に賛成です。画像の一部を見て当てるということが同じだし、提案理由にもあるように2学期に頑張ったことを思い出せるからです。」

Aが提案されたゲームの内容を心配する少数意見を踏まえて新たな考えを提案したことで、学級全体で改めて集会の意義を再認識し、全員が安心して参加できる内容となるよう合意形成を図ることができた。

【当該指導での「深い学び」】

Aは、**クラウド上で共有した友達の意見を参照した際に、心配な意見をもった友達がいたことを思い出した。2学期に頑張ったことを思い出し、3学期も頑張ろうと思えるようなゲームにすればみんなの思いが生かせると考えた。**みんなのやりたい思いと不安に感じている思いを生かす方法を考えたことで、学級全体で今回の集会の意義を再認識し、合意形成に結び付けることができた。

■指導上の工夫とICTの利活用

①事前に友達の考えをクラウド上で確認し、参考にしながら自分の考えを整理する活動を位置付ける。

* 友達の考えを参考にして、組み合わせたり、関連付けたりする活動を位置付け、自分の考えを深いものにしていく。

②発表内容の整理を行う。

* 発表の前に自分の考えを整理したり、まとめたりするため、紙だけではなく端末にメモしてから発表することも考えられる。

* 修正のしやすさや入力の速さが生かされる場合には端末も活用する。

③記録係が発表した内容を記録する。

* 黒板等を活用することも考えられるが、黒板は限られたスペースであるため、理由まで示すことが難しい。端末を使うことで、理由をメモしたり、入力したメモを動かしたりすることができるため、意見の整理や分類がしやすくなる。

* 入力する速度に個人差があるため、必要に応じて取り組むことが考えられる。

学習指導要領や解説との関連

小学校学習指導要領 第6章 特別活動 第2の2

(1)学級や学校における生活づくりへの参画

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、
解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。

小学校学習指導要領解説 特別活動編

学級会では、学級や学校の生活上の諸問題を解決するために、提案理由を基によりよい解決方法や実践内容について話し合い、少数意見の考えも考慮するなど多様な意見をまとめ、合意形成を図っていく。